

関東学院六浦小学校 4年生への保健の授業

助産師でもある母性看護学の教員が、小学校4年生の児童に「思春期の体と心の変化」について授業を行いました。

男女で一緒に聞く性の話に恥ずかしがる様子を見せる児童もいましたが、自分の体の変化を理解しようと、「〇〇って何?」、「みんな、そうなの」と日頃抱いている疑問を素直に質問してくれた児童もいました。

看護学生と同じ様に、体の名称を日本語で正しく伝えましたが、子どもたちにとっては初めて聞く言葉もあり、少し難しかったかもしれません。

いのちの誕生を見守ってきた助産師として、この世に生まれてきてくれた子どもたちが健やかに成長して欲しいというメッセージも込め、授業を行ってきました。

